

神戸市民が希望を実感できる年に

決算局 質疑
松本のり子議員
東灘区

神戸市も全力でジェンダー平等推進へ
同性パートナーシップ制度導入を

議案 討論
西ただす議員
東灘区

市民生活や子育て応援の予算増やし
神戸空港への市税の投入はやめよ

代表 質疑
味口としゆき議員
灘区

大学誘致ありき再整備やめ
王子公園・動物園の充実を

一般 質問
大かわら鈴子議員
兵庫区

コンテナ車横転事故が多発する
夢野山麓線の安全対策の強化を

一般 質問
朝倉えつ子議員
北区

済生会兵庫県病院の病床削減統廃合やめ
今の場所で、診療体制の維持充実を

議案 質疑
森本 真議員
長田区

コロナ禍・物価高騰で困っている市民支援へ
上下水道料の免除や、学校給食の無償化を

決算局 質疑
山本じゅんじ議員
須磨区

住民の福祉の増進の観点で
バス路線の減便くいとめ、充実を

決算局 質疑
今井まさこ議員
垂水区

脱炭素・気候変動危機に責任をはたせ
神戸製鋼石炭火力発電所の稼働停止を

一般 質問
林まさひと議員
西区

市民の生活支える公共料金引き下げ
神戸電鉄へ敬老・福祉パス適用を

神戸市議会
第2回定例会
(9/14～12/7)から

みなさんの声を届け 切実な願いを実現！ 日本共産党 神戸市会議員団

1 中学校給食の実現、 充実さらに無償化へ

神戸市は中学校給食がありませんでした。日本共産党市議団は、保護者や住民のみなさんと9万を超える署名を集め、中学校給食を実現。しかし「冷たい美味しくない」との声に応え運動を強め、ついに「**全員喫食のあたたかい中学校給食**」を神戸市は表明。さらに安全安心な自校調理、学校給食の無償化にみなさんの声を届けていきます。

現議長が語る 運動と論戦の力

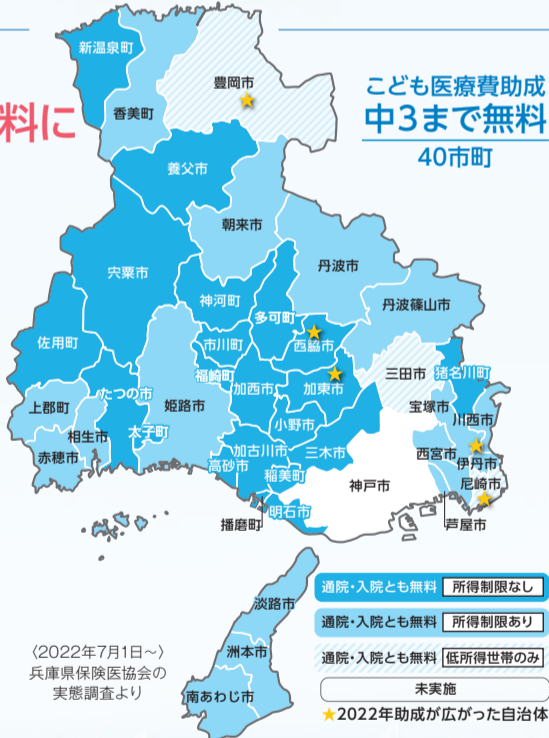
「運動が広がり、選挙でもたん」
「中学校給食のときは、私たち自民党は反対やったんですね。…ところが、選挙を交えてかなりの運動が繰り広げられて、自民党の私たちの会派も、もうこれは選挙でもたんという空気が出てきた。やむなく私たちの会派も、今のシステムに踏み切った」
(自民党・安井俊彦議員・2019年9月20日文教子ども委員会)

新署名にご協力を

2 子どもの医療費を 高校生まで完全無料に



日本共産党市議団は、子どもの医療費の窓口負担を無料化するよう議会で繰り返し質問し、議案提案権を使って条例を提案。2018年には所得制限の完全撤廃、2021年には高校3年生まで入院は無料に。みなさんと力を合わせ、**高校卒業まで完全無料化実現へ全力をあげます。**



3 コロナや物価高騰から くらしと雇用・営業を守り抜く

長引くコロナ禍に加え円安・物価高騰のもとで、苦しんでいる住民や事業者のもとに駆けつけ、その声を議会に届け、解決に取り組んできました。全国に先駆けて実施した事業者家賃補助や支援金を実現。**PCR検査の拡充、病床の確保、保健師の増員などを要求**しています。命と暮らしを守るために奮闘します。

神戸空港国際化 拡張工事に600億円

自民・公明・維新・立憲・国民が

「市税投入」

市民との約束を反故に!!

阪神・淡路大震災で多くの市民が被災・避難し、苦しんでいるときに神戸空港建設を発表。たくさんの市民が反対の声を挙げ、**神戸市は「税金とは別に独立採算で」と約束しました。**

98年に神戸市議会も「市税は一切投入しない」と決議。

推進決議を採決強行!!

12月5日の神戸市議会で、市長与党ら5会派が、市税を含めた「あらゆる財源を積極的に活用」することを求める決議を提案、議会で採決を強行しました。「市長を監視する」議会のチェック機能を放棄した行為です。

子育てや教育支援には「財源不足」!?

久元市長は、近隣の自治体が行っている子どもの医療費や給食費の無償化などには「財源不足」を理由に背を向けて、学校や地域集会所の改修費用もまともに出していません。

神戸空港の国際化だけ、岸田内閣や経済界の言うがまま、市税を投入して市民負担で進めるなど本末転倒です。

市税は市民生活の応援に使うべきです

日本共産党

神戸市会議員団

日本共産党は推進決議に反対し、神戸空港への市税投入の具体化をやめさせ、神戸市の予算は市民の暮らしと営業応援に最優先に使うよう求めて、全力でがんばります。



決議当日に抗議の宣伝をする党市議員団

i 神戸空港の国際化事業

関西経済界などがつくる三空港懇談会での「2025年大阪万博での神戸空港でも国際チャーター臨時便の就航が可能」との合意を受け、ターミナルビルや駐機場の拡張工事など土地代を含め600億円もの大規模開発を急ピッチで進めるものです。

王子公園・王子動物園を まもっての願いに



王子公園にある、市民プールやサブグラウンド、メインスタジアム等を廃止・縮小し、大学を誘致することに神戸市は固執しています。神戸市に提出した署名は、6万筆を超えました。

市民の声をもっと集め、王子公園・動物園をよりよいものにするために全力をあげます。



会のみなさんと市長に署名を提出する日本共産党神戸市会議員団

統一協会の反社会的活動を一掃し、 神戸市の民主主義を守ります

統一協会(世界平和統一家庭連合)の問題では、中央区選出の自民党市議の仲介で、神戸市の幹部職員が統一協会関連団体のイベントに参加し、垂水区と須磨区選出の自民党市議の紹介で、神戸市は寄付を受け取り、市長名で感謝状を出し、助成金も出していることが明らかになりました。

多様性を認め合い誰もが個人の尊厳を大切に ジェンダー平等の社会の実現へ

日本共産党は市民のみなさんと手を取り合い校則や制服の見直し、女性に注意喚起するのではなく「痴漢は犯罪」と鉄道やバスでのアナウンス・ポスターの掲示、小中学校のトイレに生理用品の設置などを進めてきました。「同性パートナーシップ制度」の導入を求めています。

神戸空港サブターミナル整備基本計画(案) についての市民意見募集 1月20日(金)まで

提出先 中央区港島
中町4-1-1-8F
FAX 078-595-6273



住所・氏名と上記件名を記載し提出ください

意見提出フォーム

市民目線で、議会の チェック機能をはたす 議員の最大の仕事です



議案・陳情に対する各会派の賛否一覧(○採択、×不採択、■審査打切)※請願は、紹介議員の可否

2022年に神戸市議会で議論された主なもの	日本共産党	自民党	公明党	日本維新の会	立憲民主党	つなぐ	共創・国民民主	国民民主党・友愛	結果
議案 2022年度一般会計予算	×	○	○	○	○	×	○	○	承認
陳情 少人数学級実現	○	×	×	■	×	○	—	×	不採択
請願 紹介議員 大学誘致撤回 王子公園・王子動物園の充実	○	×	×	×	×	×	×	×	審査未了
陳情 同性パートナーシップ制度創設	○	■	○	○	○	○	—	○	採択
陳情 学校給食の無償化	○	■	■	■	■	○	—	■	審査打切
陳情 補聴器購入の公的助成	○	■	■	■	■	○	—	■	審査打切
陳情 済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合中止	○	×	×	×	×	■	×	×	不採択

あなたの声が、
政治を変える力になります

3338人もの方々から

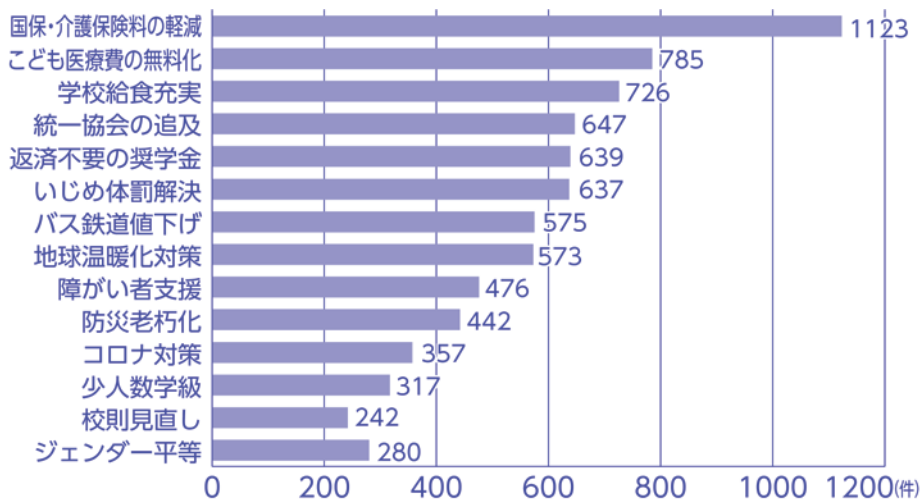
アンケートのご回答をいただきました

私たち日本共産党神戸市会議員団は、子育て、介護、雇用、まちづくりなど、みなさんが暮らしやすい神戸をつくるために、アンケートを実施しました。10代～90代の幅広い多くの方から回答が寄せられました。ご協力ありがとうございました。中間報告として、集計済みの2200件のうちの一部のご意見をご紹介します。

みなさんの「声」をご紹介します

1 神戸市や市会議員に力を入れてほしいことは？

複数回答あり

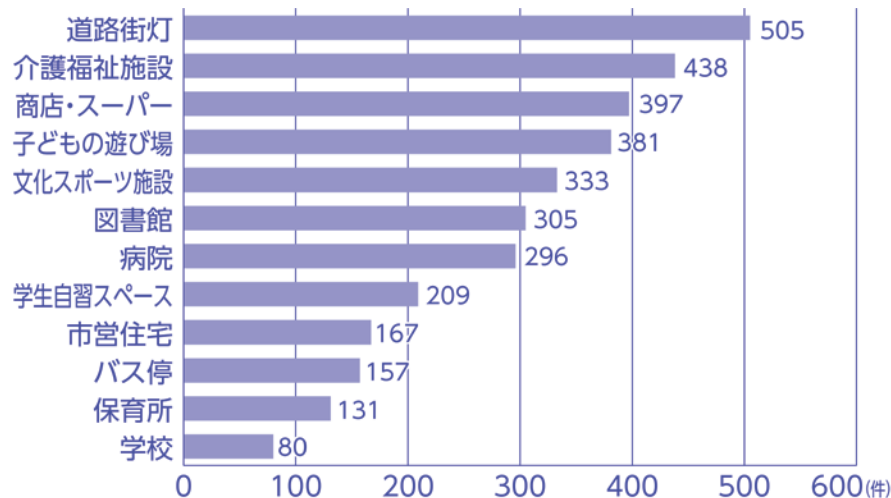


その他

- 神戸は他市と比べて国保料も介護保険料も高い
- 教材や制服など義務教育で必要な物の無償化
- 通学支援制度の充実
- 福祉パスの復活と敬老パスの拡充
- 加齢性難聴者の神戸市独自の補聴器補助制度
- パートナーシップ条例の策定が遅すぎる
- ヤングケアラーへの支援を充実してほしい
- 神鋼石炭火力発電所を停止してほしい

2 お住まいの地域につくってほしい施設は？

複数回答あり



その他

- 鴨子ヶ原・渦森台地区に診療所をつくってほしい(東灘区)
- 三宮駅周辺に駐輪場がない(中央区)
- 街路や公園の緑を増やしてほしい。木陰が少ない(長田区)
- 店も病院もない。車もなく宅配も利用できない老人はどこで買い物すればよいのか(北区)
- 須磨駅前にスーパーがなくなって買い物が不便(須磨区)
- バス停にベンチをつくってほしい(垂水区)
- 特別養護学校をもう一度垂水区につくってほしい(垂水区)
- 西神南に中学校を増やしてほしい(西区)

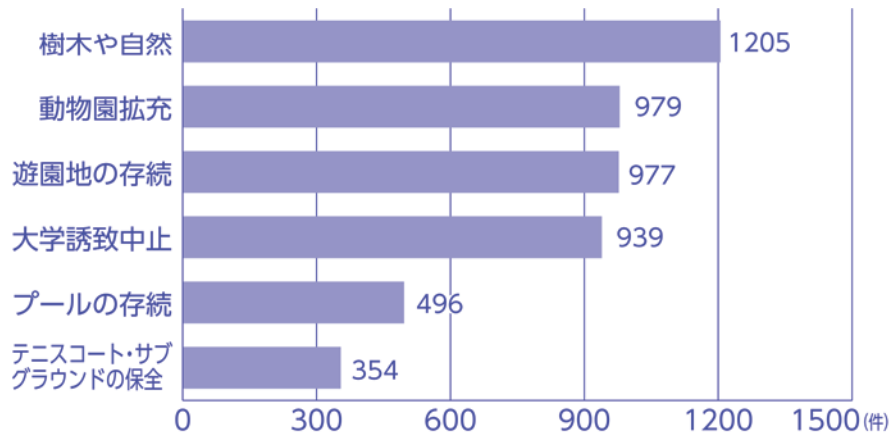
3 お困りごとや、地域で改善してほしいこと

- 六甲ライナーの運賃が高い(東灘区)
- 26系統のバスの運行時間をのばしてほしい。買い物や通院に不便(灘区)
- 西元町駅をきれいにしてほしい、滑り止めをつけてほしい(中央区)
- 夢野白川線、山麓線の規制が始まって、コンテナ車の台数が大幅に減った。一步間違えれば命がなかったかもしれない。実現してよかった(兵庫区)
- バスの本数を増便してほしい。陸の孤島と言われています(長田区)

実現に
喜びの
声も!

- ひとり暮らしの高齢者が孤独にならないように見守り体制をつくってほしい(長田区他)
- 済生会病院が地域から無くなることに不安をおぼえる(北区)
- スマスイを公営に戻し、家族で楽しめる料金にするべき(須磨区)
- 落合池は手入れがされておらず汚い。きれいに整備してほしい(須磨区)
- 垂水駅にエレベーターを設置してほしい(垂水区)
- 神戸電鉄は70歳以上には半額にしてほしい。安ければ一駅でも乗れる(西区)

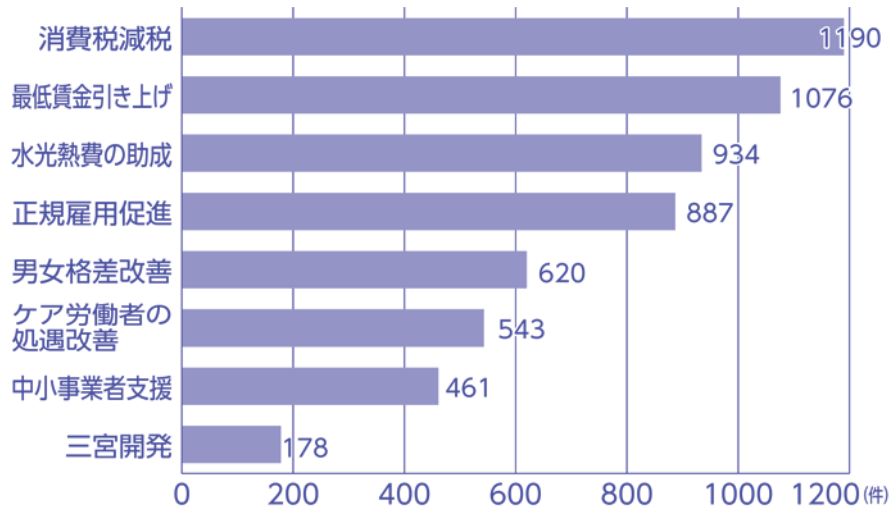
4 王子公園・動物園の再整備方針について、より良い再整備はどうあるべきと思いますか？ 複数回答あり



その他

- 大学誘致しても活性化するとは思えない
- 春に美しく咲く桜の木を残してほしい。プールも、テニスコートも、サブグラウンドもなくすなどでもない
- 少子化の時代に大学をつくることに意味があるのか
- 市民の大切な公園、いこいの場をつぶさないで！
- 市民の意見を聞かないなら、市民意見など募集するな

5 コロナや物価高から、雇用や生活、神戸経済の立て直しに何が必要だと思いますか？ 複数回答あり



その他

- 非正規雇用のため将来に希望がもてない。結婚すら出来ない。雇用の充実を！
- コロナで退職し、再就職できない。支援を拡充してほしい
- 正規市職員を増やし、役所窓口の民営化をやめるべき
- 少子高齢化で介護職員が不足している。給料を上げるべき
- 市民税の減税
- 保育士、教員の労働環境の改善
- 三宮再開発、神戸空港国際化にお金を使いすぎ。市民生活改善に効果があるのか

6 今の政治や日本共産党へのご意見など

- 消費税が高くて生活できない。減税してほしい
- 子育てしやすいように、子育て世帯への支援を強化して、もっと子どもの数を増やすべき
- 学費を大学まで無償化にしてほしい。平等に教育が受けられるようになれば子どもは増えると思う
- 軍事費を上げて平和から遠ざかるばかり。戦争は人殺しであり、環境破壊であるという事実を発信してほしい
- 国はムダなバラまきばかり。安心して老後をすごせるように、これ以上年金額を減らさないでほしい
- 自公、統一協会ぐるみの悪政を正し、国民の福祉、教育の充実をはかってほしい
- マイナンバーカードに不安を抱いている。やめるべき
- 大企業の内部留保に課税すべき

一部をご紹介しましたが、まだまだたくさんのご意見が寄せられています

長期にわたるコロナや物価高騰のなか、軍拡・増税すすめる岸田内閣から市民の命・暮らし・雇用を守る神戸市政へ。日本共産党神戸市会議員団はみなさんに寄りそいます。



引き続きみなさんの声を届け、一丸となって苦難解決に全力を尽くします

予算懇談会にぜひご参加ください

命・暮らし・雇用を守る
住民の声がまっすぐ届く市政へ転換を!!
 みなさんと力をあわせ要求を実現します！

日時 2月7日(火)18時から
場所 中央区文化センター
 多目的ルーム (市役所西側
 新中央区役所内)

外郭団体特別委員会審査から④

神戸市議会外郭団体に関する特別委員会の審査が2022年12月15日と23日に
ひらかれ、日本共産党神戸市会議員団の山本じゅんじ議員と今井まさこ議員
が外郭団体の運営状況などについて質問しました。

12月15日 企画調整局

一般財団法人 神戸医療産業都市推進機構

目的に照らし財源の あり方を考えるべき

——— 山本じゅんじ議員

一般財団法人神戸医療産業都市推進機構は、神戸医療産業都市の中核的支援機関として、革新的な医療技術を創出し、神戸経済の活性化や市民福祉の向上や国際社会へ貢献することを目指して設立しました。山本議員は「機構への補助金の

うち国庫からは約3分の1。日本だけでなくアジア諸国の医療技術の向上は、いわば人類に貢献する目的であり本来は国の問題だ。神戸で支える財源の重さに疑問を感じる」と指摘し、補助金のあり方や機構の目的について質しました。

答弁ダイジェスト

常務理事：国庫からの補助金は科学研究費で、その整備などには補助は入っていない。国庫はもちろんだが、企業との共同研究で支援をいただくことに注力していきたい。



山本議員：定款の項目のうち、神戸に直接関わっているものは経済の活性化と医療産業都市の推進であり、残りの項目は特に機構でないといけなものではない。国の医療の技術の向上にも寄与することになれば、国策として判断していくことも必要だ。もう少し補助金のあり方を考えるべきだ。

その他の質問

- 第4次経営計画について

——— 山本じゅんじ議員

公立大学法人 神戸市外国語大学

安心して学び続けられるよう 困窮する大学生に支援を

——— 今井まさこ議員

公立大学法人神戸市外国語大学は、国際文化に関する実践教育や理論研究の中心として、文化や教育の面で地域の社会・産業の発展に貢献し、世界の高等教育や学術研究の向上を目的としています。今井議員は、学生の心と体の健康に関する調査報告について「アンケートではコロナや物価高騰でまともな食事ができず体調不良を訴えている学生もいて、159

人が経済問題に悩んでいる。引き続きアンケートを実施し、学生の皆さんが健康で勉強に集中できるよう支援をすべき」と求めました。

答弁ダイジェスト

事務局長：コロナや円安の厳しさは学生たちだけではない。制度的に大学が支援するには財源的に非常に難しい。

今井議員：町ぐるみで大学生を支えようという取り組みは全国的にある。市川町や福崎町では10万円の給付金を出している。神戸市も支援を考えるべきだ。

辻局長：地域貢献活動に参加してもらいアルバイト料として支援をし、他にフードプロジェクトも実施してきた。



その他の質問

- LGBTQ推進の取り組みについて

——— 今井まさこ議員

- 高専との同一法人化について

——— 山本じゅんじ議員

神戸都市振興サービス株式会社

今後のビジョンと 方向性を明確に示せ

——— 山本じゅんじ議員

神戸都市振興サービス株式会社は、医療、健康、福祉関連分野等における新規事業の創出を目的として、先端医療センターや神戸アイセンターなどの医療施設・医療に関する研究開発施設等の施設の維持管理や運営をおこなっています。山本議員は、税負担の軽減や投資により大

幅な減収になったことや、今後の事業展開などについて追及しました。

答弁ダイジェスト

代表取締役常務：大きな施設を持っているので、その費用負担も大きく、利益を圧迫している。経費の節減により老朽化がすすんでいる施設の予防保全やライフサイエンス系のスタートアップの支援などに充てている。さらに遅れているSDGsやICTの取り組みも強化していきたい。

山本議員：今年度の事業計画を続けるだけでは意味がない。減収して財源をつ

くり出しているなら、今後新しい事業展開を考えるべきだ。

代表取締役常務：現在の第4次中期経営計画のよいものを第5次にも取り込んでいけるよう計画を策定している。できる限り良い研究環境を提供できるよう取り組んでいきたい。

山本議員：結局は今年度の計画の延長でしかない。必要に応じて今後の事業展開や事業の在り方を長期的なビジョンで明確に見定め、ある程度の事業の方向性を示すべきだ。

税金投入しているなら 市民要求に応える使い方を

——— 今井まさこ議員

公益財団法人計算科学振興財団は、スーパーコンピューター（以下「スパコン」）の活用による研究開発、スパコンの産業利用・普及啓発に関する事業をおこなっています。スパコンはコロナウイルスの飛沫や豪雨災害の予見など、近年

私たちの暮らしにも身近になってきています。今井議員は「財団に神戸市から負担金として税金が投入されているなら、市民の要求に応え納得してもらえる使い方を考えるべき」と質しました。

答弁ダイジェスト

今井議員：例えばビル建設の際にビル風の心配の声がよくあがっている。予測するのが難しいとされるビル風でも、スパコンを使えば建設会社に指導できるのではないかと。

森医療産業都市部長：ビル開発前であ

っても、対策を講じるべき場合でも見える化することが大事だ。一定市税を投入している以上はきちんと市民に還元されてしかるべきだと考えている。

今井議員：市民はきちんと規制してほしいという思いが強い。ぜひスパコンを活用して市民の皆さんのために役立てていただきたい。

その他の質問

● AI・IoT導入支援事業費補助について

——— 山本じゅんじ議員

12月23日 健康局

働き続けられる環境を整備し 人材の流出を防げ

——— 山本じゅんじ議員

地方独立行政法人神戸市民病院機構は、地域医療機関との連携及び役割分担の下で、救急医療、小児・周産期医療、感染症医療、災害その他の緊急時における医療など、市民に質の高い医療を安全に提供するため、中央市民病院・西市民病院・西神戸医療センター・神戸アイセンター病院を運営しています。山本議員

は、感染症患者に対応できる医療スタッフの継続的な確保・育成が課題となっている今、高いスキルを持つ職員ができるだけ長く働けるように環境を整えるべきと追及しました。

答弁ダイジェスト

理事兼法人本部長：今後の新興感染症に備え、中央市民病院では2021年度から通常より50人多く看護師を確保し、集中治療部門での臨床経験を積む育成をおこなっている。来年度からは看護師の離職防止のために専門のワーキンググループを立ち上げる。

山本議員：（離職は）労働条件だけの

問題ではない。スキルを身につけた上でそれを専門的に生かそうという流れもあるのではないかと。

理事兼法人本部長：離職理由の多くは結婚・出産・育児だが、他病院の他職種への転職も一定ある。

山本議員：知識と経験を積んだスタッフが流出していくと機構としても大きな損失になる。高いスキルで長く働き続けられる環境を整備し、患者が安心して医療が受けられる体制をつくるべきだ。

その他の質問

● 第4次経営計画について

——— 山本じゅんじ議員

認知症増加に備え 支援チームの周知徹底に努めよ

——— 今井まさこ議員

一般財団法人神戸在宅医療・介護推進財団は、在宅あるいは地域における高齢者等に対する医療・介護サービスの推進を図り、高齢者等の福祉の向上に寄与することを目的として設立し、神戸リハビリテーション病院やあんしんすこやかセンターの管理運営、在宅医療・介護連携の支援事業などをおこなっています。今井議員は、神戸市が委託している認知症に関する総合電話相談窓口である、こうべオレンジダイヤルについて「認知症に対する感心度は高まっているのに相談件

数が低い。もっと周知徹底に努めるべき」と質しました。

答弁ダイジェスト

今井議員：相談件数が数年で600件台とは少なすぎるのではないかと。

吉村副局長：神戸モデルの診断助成制度の受診券送付時にチラシを同封したり、広報こうべやホームページにも掲載している。周知ともに、様々な窓口で高齢者の相談を受けながら連携していきたい。

今井議員：様々な窓口があると言うが、もっとオレンジダイヤルに相談がいく仕組みはできないのか。

吉村副局長：あんしんすこやかセンターでの相談が第一義的になっている。その中で早急に対応すべきことがあれば、（同じ財団で神戸市から委託されてい

る）初期集中支援チーム（オレンジチーム）につなぎ連携を図っている。

今井議員：今後も高齢者が増えてくるので、このオレンジダイヤルやオレンジチームの果たす役割は大きい。もっと周知と連携に努力すべきだ。

2月13日より2月議会が開会します

- 2月13日(月) 本会議（議案質疑）
- 14日(火)・15日(水) 常任委員会
- 17日(金)・20日(月) 本会議（代表質疑）
- 2月21日(火)～3月3日(金) 予算特別委員会局別審査
- 3月 8日(水) 予算特別委員会 総括質疑
- 10日(金) 予算特別委員会 意見表明・意見決定
- 14日(火) 本会議
- 15日(水)・16日(木) 常任委員会
- 22日(水) 本会議
- 23日(木) 本会議（一般質問）

ぜひご視聴ください

森本真議員が 代表質疑に登壇します

日時 2月20日(月)午前10時頃から

場所 市議会本会議場

質問時間がずれることがありますので、時間に余裕をもってご覧ください。

こちらから
ご視聴は



朝倉 えつ子

日本共産党神戸市会議員

発行：日本共産党神戸市会議員団 党市議団 HP：<http://www.jcp-kobe.com/>

健康局質疑する朝倉議員

済生会兵庫県病院の 統合・移転はやめよ

済生会病院が
あるから転居して
きたのに困る

通えなくなる！
病院がなくなる
も同然…

新型コロナや新たな感染症から、市民の命を守る医療体制の強化こそ求められている時に、病床を100床以上も削減する済生会兵庫県病院と三田市民病院の統合計画は、本当に道理がありません。

神戸市全体の急性期ベッド数は9,423床ですが、済生会病院には、急性期病床が213床、北区全体の急性期ベッド数は、1,000床にも満たない状況です。人口21万の広い北区は、市街地と比較を

すれば少ない地域です。お隣の三田と一緒にすれば、地域は広がるのに、病床は逆に減ることになります。

神戸市が「再編・統合により、これまで対応できなかった症例についても対応可能になる」「高度な医療が提供できる」などと言っても、入院出来なければその医療を受けることも出来ません。

統合した川西市では

すでに、川西市立病院(250床)と協立病院(353床)の統合では、150床も病床を削減し、7割の400床程度にした結果、満床が続き、救急搬送依頼の3割を断らざるを得ず、患者を受け入れられない状況です。救急医師は3名で、医師確保にも深刻な問題を残したままです。済生会病院の統合でも、同じようなことが起こるのではないのでしょうか。

病床が減らされれば、医師や看護師、職員は減り、400床規模の病院になったからと言って、今以上に医師確保できるか保証はありません。



済生会集会で発言する朝倉議員

済生会病院 268床 + 三田市民病院 300床

100床以上削減！

新三田市民病院？
400~450床

国の軍事費増額のために、 病院の積立金まで流用?!

国は、国立病院機構(NHO)の積立金422億円と、地域医療機能推進機構(JCHO)の積立金324億円を「不要見込み」として国庫に返納させ、軍拡財源に流用ようとしています。

JCHO(旧社保神戸)病院労働組合からは、「積立金は、一般診療、難病等の補助金、コロナ感染症の収入。患者・利用者の命と健康を守るために使われるべき。『防衛費』に使われるべきではない」と、政府に求めてほしいと要望書が届いています。

日本共産党と朝倉議員は、積立金は感染症対策の充実など、医療を守るために使えと求めて頑張ります。

何も決まったものはない?!

統合について、これまでの経緯がわかる文書、神戸・三田の両市長同士や済生会病院を含めた3者で協議した合意文書などを、情報公開請求しましたが、議事録すらありません。

朝倉議員は「大事な問題を決めるのに、公文書として存在しないのはなぜか」と質しましたが、市は

存続のための支援を!

朝倉議員は予算委員会で、「医療需要は2035年までは増え続ける、それから先は人口減少で需要が減り続けるから、病床減らしても仕方ないという立場に立つのか」と厳しく追及しましたが、当局はこれにもまともに答えません。

統合される新たな病院の土地代などを負担する

「市役所の方針として、できるだけ議事録は取らない。その作業をするなら、本来の仕事をするべき」などと許せない答弁です。すべて口約束と言うのでしょうか。協定書も調印もまだ、土地買収もこれからです。決まったことはないという事です。



財源があるなら、済生会病院を、引き続き今の場所で存続させ、診療体制の維持・充実ができるよう、市としてさらに支援を尽くすべきです。病床削減する統合にも、岡場駅すぐそばの済生会病院を交通アクセスもない遠い所へと移転させることにも反対です。

三田市との消防指令事務の共同運用 不足する消防職員の充足こそ!

消防まで広域化?!



消防局質疑する朝倉議員

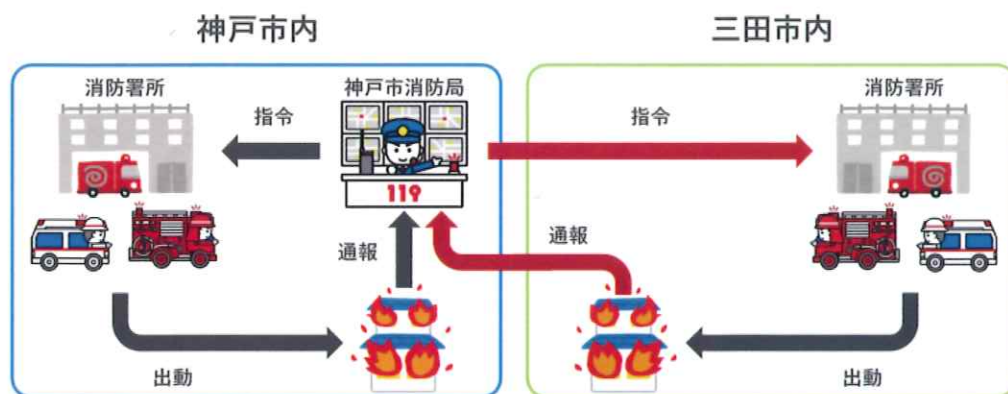
神戸市は、「消防指令業務」を三田市と共同運用する事を決め、令和9年度運用開始に向け、具体的な協議を始めるとしています。共用運用される指令センターは、神戸市に設置され、三田市の年間約6,500件の通報を受ける業務が、神戸市に委託されます。

消防は命、財産、町を守る自治体の基本的な仕事です。24時間体制で119番を受ける「消防指令業務」は、その通報内容から災害の種類を判断し、どの車両と隊員を現場に向かわせるかを決めて「出動指令」を出す、消防の指揮の中心をなし、それぞれの町の事情に精通しなければならない業務です。

消防指令の共同運用は、国が1990年代から進める消防広域化の一環ですが、国の思惑通りに広域化は進んでいません。埼玉県などでは不参加や脱退する事態が起こっています。

昨年、12月26日の久元神戸市長、森三田市長による会見の際には、記者からも「人員を増やさないのか」「神戸市としては業務過多になるのでは」と質問が出されました。三田市がこれまで行ってきた消防指令を神戸市が行うことになれば、職員の負担が増えるのは当然です。

朝倉議員は、3月予算委員会で「今でも100人以上足りない消防職員を、国の指針に基づき充足させることこそ必至」と指摘し、「業務を増やす三田市との消防指令事務の共同運用は行うべきではない」と求めました。



市政へのご要望や身近なお困りごとなどお気軽にお声かけください。

みんなで食べる
あたたかい



中学校給食ついに

実現
します!

日本共産党は、地域のみなさんと9万筆の署名を集め、議会で123回取り上げ論戦し、「家庭の愛情弁当」と言って、長年背を向けてきた神戸市に、中学校給食を実現させました。

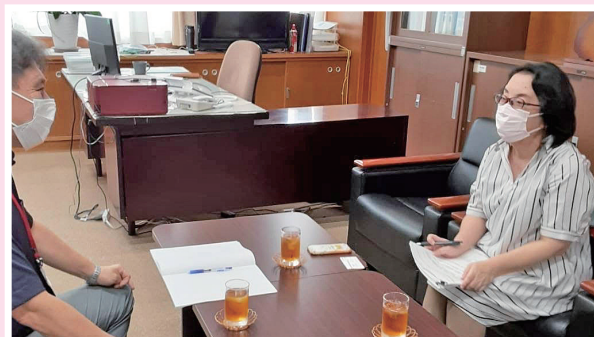
実施後も「冷たくて美味しくない」デリバリー弁当の見直しを粘り強く求め、「みんなで食べるあたたかい給食」が実現されます。

朝倉議員は、さらに北区の農産物の利用や安心安全な学校で作る給食を求めています。

さらに給食無償化へ

今、全国各地の自治体で学校給食の無償化が広がっています。市は「無償化をしてほしいという保護者の声があることは承知している」と言いながら、「多額の財政負担が生じる」と実施に踏み出そうとしません。

朝倉議員は、「長引くコロナ、相次ぐ物価高騰の今こそ、学校給食の無償化に踏み切り、子育て世代を応援するべき」と求めています。

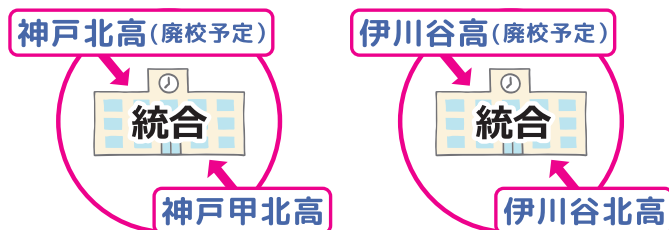


学校訪問する朝倉議員

神戸北高校をなくさないで!

高校統廃合でなく、 今こそ少人数学級を高校まで

兵庫県と県の教育委員会は、県立高校14校を6校に統廃合する計画で、北区では、駅も離れた甲北高校(北鈴蘭台駅)と神戸北高校(唐櫃台駅)を1つにし、今の甲北高校に統合先の高校を設立し、神戸北高校を廃校しようとしています。



北高校は2025年度から募集を停止する為、4月から中学3年生となる学年が、高校3年生になる際、3年生しかいない学校となります。

朝倉議員は「一番影響のある今の中学生とその保護者に、まともな説明もないまま計画を進めようとして、不安の声があがっている」統廃合の是非も問わ

ず、トップダウンで進める統廃合はやめよと県に働きかけるべき」と、市に迫りましたが、市の教育委員会は「県が計画し判断した」と言うだけです。

県は少子化を理由にしますが、それなら、学校も職員も減らさず、少人数学級こそ中学や高校まで拡げるべきです。

久元市長は、唐櫃台など神鉄沿線の駅周辺の再整備をすすめ、「駅の魅力向上で人口流入につなげる」と言う一方で、公立幼稚園も統廃合を検討したり、北鈴蘭台にあった桜の宮保育園は民営化され、桜の宮児童館は廃止されます。少子化対策とも逆行しています。高校や幼稚園までなくしてしまったら、若い世帯が住みにくくなり、人口流入どころか、さらに減少させることになってしまいます。

まちづくりを壊すような高校統廃合はストップさせ、子育てしやすい北区、安心して住み続けられる北区にと頑張ります。

朝倉えつ子

日本共産党神戸市会議員

発行：日本共産党神戸市会議員団 党市議団 HP：<http://www.jcp-kobe.com/>

日本共産党

神戸市会報告
子育て・ジェンダー編

2023年3月号 北区版



一般質問する朝倉議員



こども医療費助成 高校生まで拡大!



こども医療費助成がついに高校生まで通院も拡充します。外来医療負担は10月から1回400円。子育て世代の方からは「助かります!」と声が寄せられています。

日本共産党神戸市議員団は、こども医療費助成をすすめるため、市民のみなさんと力を合わせ、通算90回以上質問するなど、実現へ頑張ってきました。

神戸市の無料化は2歳までです。久元市長は、「無料にすると、病院に殺到して、パンクするおそれがある」などと根拠もない理由で、外来負担を残しました。しかし、名古屋など他都市では、子育て世代の経済的負担軽減として、高校卒業まで無料の制度があり、広がっています。

朝倉議員は、高校まで完全無料を求めて引き続き頑張ります。



市会報告する朝倉議員



学校バリアフリー化 (令和5年～順次調査)

- 段差解消 【小学校】 谷上、桜の宮 【中学校】 小部、淡河
- ユニバーサルトイレ 【小学校】 君影 【中学校】 大池

小学校体育館に部分空調設置 (令和5年予定)

藍那、南五葉、北五葉、鈴蘭台、桂木、ありの台、大沢、長尾、好徳

パートナーシップ制度の早期創設へ



誰もが差別なく「自分らしく生きる」ことができる、ジェンダー平等を実現していくための環境整備を進めることが大切です。

同性カップルにも異性カップルと同様に市営住宅への同居、病院への付添など、家族として生活できる権利を保障する「パートナーシップ制度」は、全国242自治体、人口カバー率では62%まで拡がり、政令市のうち何らとりくみもされていないのは神戸市のみとなっています。

10月18日福祉環境委員会では、「神戸市にお

ける同性パートナーシップの承認制度の創設に関する」陳情がだされ、朝倉議員は、「社会的な認知も今広がっているのに、いまだに消極的な態度——検討というままでは駄目だ」と、パートナーシップ制度導入を強く求めました。自民党を除く会派が賛成し採択されました。

他都市で導入した所では、「本当に自分らしく生きていけること」を、行政によって「制度によって認められた」となっています。神戸市においても、早期実現を求め頑張ります。

市政へのご要望や身近なお困りごとなどお気軽にお声かけください。

日本共産党神戸市議員団 〒650-0001 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内 TEL.078-322-5847 ©党北区事務所 TEL.078-591-4755

地域の活動などをfacebookやTwitterで報告しています。

朝倉 えつ子

日本共産党神戸市会議員

発行：日本共産党神戸市会議員団 党市議団 HP：<http://www.jcp-kobe.com/>

建設局質疑する朝倉議員



北区で2か所目

建設事務所を新設へ！

広い北区では「現場対応力の向上」として、2か所目となる建設事務所が、2027年度箕谷に新設されることになりました。

神戸市には、市内6箇所市の建設事務所があります。道路・公園・河川などの公共施設をつくり、守ることで、地域の防災拠点として、市民の皆さんに安全を提供しています。

北区ではこれまでも、豪雨の際、土砂崩れや烏原川の氾濫などにより被害が起き、迅速な対応、日ごろの防災対策が求められています。地域住民の方からのお困りごとやご要望など、各建設事務所へのご相談は多岐にわたり、どこでも対応に苦慮しています。とりわけ、異常気象と言われる中、集中豪雨があれば災害が多発することが想定されます。

神戸市は、今後も750人の職員を削減する「行財政改革」をすすめるようとしていますが、どの建設事務所でも、職員の2割程度は非正規です。いざとい

う時の対応は正規職員となります。建設事務所の新設にあたっては、建設局全体で根本的な人員・正規職員を増やすことが求められています。朝倉議員は、「人員をどこから引っ張ってくれば、引っ張って来たところの現場対応力が弱まってしまう。人員を増やす体制強化を」と求めています。



便利な市バス路線へ

北区は、市バス路線も一部を除き民間移譲され、交通が不便です。交通費が高いという事が雇用にも影響を及ぼしています。

朝倉議員は、住民の声を聞き、減便や路線短縮された市バス路線は元へ戻すこと。これ以上の減便や短縮はやめて維持することなど、求めてきました。民間バス路線にも「乗り継ぎ割引」が使えるようにするなど、さらに充実を求めます。



唐櫃台地域に コミュニティバス 試行運行へ！

唐櫃台地域は坂が多く、住民のみなさんからの声で、令和6年「試験運行」が始まります。アンケートをもとに、運賃(200円程度)や運行時間帯(9時～18時)など「基本的な運行条件」が示され、今後「事業者選定」されます。試験運行は令和6年以降となる予定です。

市営住宅の再編計画は 入居者本位に

引っ越し準備が大変

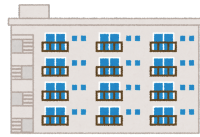
久元市長は、市営住宅を震災前水準まで6,981戸(令和元年度末比)削減する「第3次市営住宅マネジメント計画」をすすめようとしています。震災借上げ住宅入居者を、裁判に訴え「転居」をせまるやり方で6,087戸も削減した前回計画を上回る削減計画です。

ひよどり台や山の街市住では

北区のひよどり台市住、山の街市住では、既存の棟にエレベーターを設置し、お風呂や給湯器など設備改修がされます。しかし、廃止される棟もあり、住みながら工事する棟はわずかな為、入居者の多くは転居を余儀なくされます。「市営住宅を集約し、できる余剰地(市営住宅の跡地)は、民間活力導入などを進める」としています。いずれも令和5年度から事業着手の予定です。

第3次市営住宅マネジメント計画 北区の対象住宅

- ひよどり台 (20棟605戸)
- 山の街 (35号棟を除く、31棟1,080戸)
- 鈴蘭台東 (2棟39戸)
- 鈴蘭台東第二 (6棟52戸)
- 有馬第二 (3棟20戸)
- 唐櫃第二 (7棟170戸)
- 塩田 (1棟10戸)
- 東下 (1棟20戸)



新たな住宅や、エレベーター設置や改修により、家賃や共益費等が高騰すれば、暮らしはあっという間に大変になります。

住み続けられる市営住宅へ

朝倉議員は、「公営住宅等整備基準」に照らせば、必要な改善は神戸市の責任で行うべきと求め、これまでも修繕等させてきました。引き続き、住環境改善と、住み続けられる市営住宅へと頑張ります。ぜひ、ご意見・ご要望をお聞かせください。

実現
しました!

北神急行市営化で 運賃半額!

令和2年度、北神急行の市営化に伴い、谷上駅～三宮駅間は550円から280円に大幅に値下げされました。敬老パス・福祉パスも使えるようになり喜ばれています。

北区ではスーパーが撤退し、毎日の買い物にも困る方が多くいます。朝倉議員は、普段の移動がもっと自由に出来るよう、敬老パスや福祉パスを神戸電鉄にも使えるよう求めています。

また、神鉄シーパスワンは、購入手数料の負担を無くすよう求めています。



市会報告する朝倉議員

市政へのご要望や身近なお困りごとなどお気軽にお声かけください。

日本共産党神戸市議団 〒650-0001 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内 TEL.078-322-5847 ©党北区事務所 TEL.078-591-4755

地域の活動などをfacebookやTwitterで報告しています。



料金後納

ゆうメール

【差出人】

株式会社エルネット

【返還先】

〒650-0001

神戸市中央区加納町

6丁目5番1号

日本共産党神戸市会

議員団内

株式会社エルネット

市民のくらしや 営業、医療・教育に予算を

ごあいさつ

神戸市は2023年度予算案を発表しました。

新年度予算では、粘り強い市民運動と日本共産党神戸市会議員団の議会論戦が実り、ついに高校卒業まで医療費助成の拡大や、あたたかいみんなで食べる中学校給食の実施などが実現しました。

一方で、神戸空港の「国際化」を口実に、2400億円以上の予算が想定される

三宮・新神戸と空港を結ぶ「新地下鉄構想」の調査費が計上されました。

原油価格・物価高騰のもとで、市民の命とくらし、雇用と営業を守ることが切実に求められています。

味口としゆき議員は、市民の声をまっすぐ議会に届け、「市民のくらしや営業、医療・教育に予算を」と、予算議会で神戸市政の転換を強く求めています。



大学誘致ではなく、王子公園・王子動物園の充実を

「大学誘致ではなく、王子公園・王子動物園の充実を」もとめる署名は、6万5千人を超え、市民・灘区のみなさんの民意は明確です。

ところが、久元市長は、王子公園の「売却」を強行しようとしています。一度、切り売りされれば、二度と元には戻りません。

来年度神戸市予算案では、突如、王子公園内にある旧ハンター邸の移築が発表されました。2013年12月から神戸市は、ずっと旧ハンター邸は「存続」としてきました。

「王子公園再整備基本方針」が決定された直後の「移築」発表は、あまりにも市民不在です。味口としゆき議員は、3月8日



旧ハンター邸

予算特別委員会・総括質疑で、「無責任な王子公園への大学誘致は中止するべきだ」と求めました。

味口としゆき議員は、灘区のみなさんと一緒に、声をあげ続けます。

声をあげ続けます!



原油価格・物価高騰で
悲鳴をあげる

市民・
中小業者
への支援を

兵庫県は2月1日から銭湯の大人入浴料金を40円値上げすると発表しました。神戸市は差額分を補填する予算を計上。これは昨年10月、味口としゆき議員の質疑で実現したものです。

味口としゆき議員は予算議会で、「市民への支援」が弱すぎると指摘し、原油価格・物価高騰に直面しているすべての市民への支援を強化すべきと質しました。

味口議員は、シングルマザーや高齢者の苦しい実態を示し、「市民がかつてない危機に直面している認識が神戸市にはないから我々に相談が寄せられている」と追及。

「上下水道や国保・介護保険料の値下げ、給食・学用品などの教育費の軽減、生活困窮者への住宅提供や家賃補助など、神戸市として今の危機的状况に見合った支援をすべき」と強く求めました。

さらに、原油価格・物価高騰に苦しむ中小業者への支援は半額以下に縮小されています。味口議員は「中小業者が長期に渡り苦しめられている現状を踏まえれば、予算を減額すべきではない。本格的な支援策こそ必要だ」と質しました。

新年度予算に見る 日本共産党神戸市会議員団の役割と議席の値打ち

住民と力をあわせ要求を実現し、市政を動かす

神戸市議会議員選挙(3月31日告示・4月9日投票)をひかえた2月8日、神戸市は2023年度当初予算案を発表しました。

日本共産党神戸市会議員団は、コロナ禍と物価高騰で苦しむ市民や事業者のみなさんのもとに駆けつけ、生の声をお聴きし、議会に届け、願いを実現してきました。また、新年度予算でも、高校卒業まで医療費助成の拡大や、全員

喫食の温かい中学校給食の実施などを実現しました。

日本共産党神戸市会議員団は、みなさんと力をあわせて、願い実現の流れをさらに前進させ、安倍・菅・岸田自公政権による悪政の防波堤の役割を果たしつつ、政府いなるの久元市政を厳しくチェックし、“神戸のまち壊し”にストップをかけるために全力を尽くします。

1 住民と力を合わせ、共同の輪をつくり、切実な願い実現

1 こどもの医療費を高校生まで助成実現 さらに完全無料化へ全力！

日本共産党は、市民のみなさんや新日本婦人の会のみなさんと一緒に、こどもの医療費の窓口負担の無料化を求め

て署名運動に取り組んできました。多くの市民のみなさんの声に応え、日本共産党は、これまで90回以上も議会で質

問し、2018年に所得制限の完全撤廃、2021年には高校3年生(18歳)まで入院無料へ拡充しました。

2023年度予算では、ついに高校3年生まで通院助成が拡大します(1回400円・10月

より)。

日本共産党は、高校3年生まで医療費の完全無料化(通院無料)や予防接種への助成拡大を求めています。

2 中学校給食の実現、充実を粘り強く

日本共産党は、保護者や住民のみなさんと9万を超える署名を集め、中学校での給食が実現。コスト最優先で、民間工場から配送される「冷た

い、美味しくない」デリバリー弁当方式の給食の転換を粘り強く求め、通算123回議会で質問。2023年度予算では、市立の給食センターの新規整

備(2か所)と、中央区1校・須磨区3校で親子調理給食とともに、保温食缶を活用した温かい給食の提供開始予算が計上され、「全員喫食の温かい中学校給食」へ前進しました。引き続き中学校給食費

の半額助成や食材高騰分の公費負担も実施します。

日本共産党は、地元産や有機農産物を活かせる安全・安心な自校調理方式、学校給食の無償化実現へ、さらに頑張ります。

3 切実な願いや、地域の身近な要求実現へ

新年度予算では、国民健康保険料の独自控除(18歳以下の子どもがいる世帯や、障がい者・寡婦世帯の保険料など22億円分減額)を守り抜いています。引き続き国保料や介護保険料の引き下げに全力をあげます。

また気候危機にともなう深刻な災害から命を守る取り組みとして、危険がけ応急対策の公費助成の継続、老朽家屋解体助成やため池防災対策の拡充。日本共産党は、神戸製鋼石炭火力発電所廃止など、

市内CO₂排出削減へ思い切った対策を求めます。

ジェンダー平等推進では、同性「パートナーシップ制度」導入の検討や、市バスや地下鉄での痴漢対策の継続とともに、久元市長が廃止した「男女共同参画課」も復活します。

地域の切実な願い実現にも全力をあげ、新年度予算では、灘消防署の現地建て替え、北区に新たな建設事務所の整備や北須磨支所の建て替えと子育て支援拠点として強

化、西区玉津支所の整備、高潮対策推進(ポートアイランド、六甲アイランド、兵庫埠

頭など)、コミュニティーバスのエリアや助成の拡大などが実現しています。

予算懇談会を開催しました



ぜひご視聴ください

森本真議員が代表質疑

ご視聴はこちらから→



2月20日(月) 午前10時頃から市議会本会議場にて

2 国の悪政の防波堤に、命とくらし、雇用・営業を守り抜く

安倍・菅・岸田歴代の自民党政府の病床削減や保健所縮小の押し付けで、神戸市の保健師数は政令指定都市最下位におちこみ、コロナ拡大に十分に対応できませんでした。

日本共産党は、PCR検査の拡充や病床の確保、保健所体制の強

化を繰り返し要求し、保健師も政令市平均まで一気に増員させました。またコロナ拡大当初、国の中小業者支援が進まないもでも、全国に先駆けて家賃補助や支援金を実現しました。

1 国のコロナ公費支援縮小に反対し、命とくらしを守れ

新年度予算では、学校園・保育所・社会福祉施設への消毒液などの感染防止対策支援、高齢者・障がい者施設の

コロナ頻回検査や不安を抱える妊婦に対する無料PCR検査が継続しています。しかし、久元市長は、国の感染法上の

位置づけの変更を「明るい兆し」などとし、国の制度改正でこれらの公費負担の「変更の可能性はある」としています。コロナ感染症から市民の命を守るために、神戸市は、患者への医療費公費負担や医療機

関への財政支援の継続こそ国に求めるべきです。また国県による病院再編の押し付けと一体にすすめる北区の済生会兵庫病院と三田市民病院の統廃合は中止し、病院病床の確保こそ必要です。

2 異常な円高と物価高騰から、命とくらし、雇用と営業を守り抜く

物価高騰対策として、新年度予算では、学校園・福祉・介護・児童施設、文化施設、公共交通への電気代高騰補助や、学校給食の食材補助など物価高騰対策、兵庫県が値上げした銭湯入浴料への支援が

実現しました。しかし中小業者支援はプレミアム商品券、アーティスト支援も間接支援にとどまっています。

久元市長は、エネルギー・食料品等の価格高騰をもっぱらロシアのウクライナ侵攻だ

けに結び付けています。異常円安をもたらしているアベノミクス・「異次元の金融緩和」失敗への認識と、国と一体に「コスト削減による競争力強化」を振りかざして、リストラと非正規雇用の拡大で賃下げ構造をつくり、地域経済の基盤を脆弱にした反省はありません。

日本共産党は、働くものの賃金を引き上げること、経済政策の中心に据えてとりくみ、コロナ当初におこなったような中小事業者やフリーランスへの直接支援や、上下水道料金の減免など神戸市独自でできる施策の実現を求めます。

3 徹底した調査と現場主義で、市政をチェックする

住民の目線で市政をチェックすることは議会と議員の最大の仕事です。日本共産党は、神戸市の施策の影響をうける住民や地域

のもとに駆け付け実態を聞き、9名の議員が9つの行政区で調査して市政をチェックする、徹底した現場主義を貫いています。

1 神戸のまち壊しストップ！

2019年、神戸市は駅から離れた地域の責任を放棄する「都市空間向上計画」（素案）を発表。日本共産党は、

ニュータウンの半数を切り捨てる計画であることを明らかにしたニュースを全戸に配布。多くの反対の声に、神戸

市は計画を見直しました。2022年、王子公園・動物園の再整備基本方針（素案）にも、大学誘致ありきで市民の施設が廃止縮小される計画を告発。現在6万5000筆をこえ

る署名など反対の声が高まり、神戸市は当初方針を撤回しました。反対署名をさらに積み上げ大学誘致ありきの計画撤回に全力を挙げています。

2 清潔・公正な政治。神戸の民主主義を守る

自民党神戸市議の仲介で神戸市長が統一協会（世界平和統一家庭連合）に感謝状を渡していることが、日本共産党の追及で明らかに。統一協会との癒着を正面から追及する

先頭にたっています。政務活動費の1円からの領収書義務付けの実現や費用弁償の廃止など、議会の改革と不要な予算の削減も積極的に提案しています。

3 住民の願い実現の財源しめすー予算組み替え提案ー

2023年度の予算案では、コロナ禍での神戸空港の国際化に128億円、都心三宮再開発に134億円、大阪湾岸道路に31億円など、大型開発や「大企業よびこみ」の大盤振る舞い。

日本共産党は、市長提案の予算に22年連続で予算の組み

替えを提案。三宮再開発など不要不急の事業を休止させるなど予算の2%の組み替えや、146億円のため込み金（財政調整基金）の活用で、住民の願いを実現できると財源提案もおこない市政を動かしています。

大軍拡ストップ

平和でも、暮らしでも、希望がもてる政治を

戦争か、平和か——日本の進路が大きく問われています。岸田政権は、「専守防衛」を投げ捨て、敵基地攻撃能力を保有する、そのために5年間で43兆円に軍事費を増やす大軍拡に突き進んでいます。戦争の準備をすれば、阪神基地隊（東灘区）、潜水艦建造所（中央区・兵庫区）を持つ神戸も、敵基地攻撃の報復対象になりかねない危険が増えます。反戦平和を貫いてきた日本共産党は、神戸市民の命とくらしを守るために、大軍拡をストップさせるために全力を挙げます。日本共産党は、物価高騰から暮らしと営業を守り経済を立て直す、環境を破壊する原発にも石炭火力にも頼らず、省エネと再エネの推進で気候危機を打開する、ジェンダー平等の社会への改革など、対決とともに抜本的な提案で政治を変えていきます。

23年度2月議会・予算特別委員会日程と局別審査担当議員

	月	日	曜日	順番	質問予定時間	分科会	担当議員
会計室・市長室・行財政局	2	21	火	4	13:45	1	森本 真
水道局	2	21	火	5	14:10	2	大かわら鈴子
企画調整局	2	22	水	3	12:40	1	森本 真・山本じゅんじ
港湾局	2	22	水	6	15:00	3	松本 のり子
健康局	2	24	金	4	13:45	2	朝倉 えつ子
文化スポーツ局	2	24	金	5	14:10	3	味口としゆき・林 まさひと
都市局	2	27	月	2	10:55	1	森本 真・今井 まさこ
環境局	2	27	月	3	12:40	2	西 ただす

*当局説明や請願・陳情の有無により質問時間が前後する場合がございます。ご了承ください。

	月	日	曜日	順番	質問予定時間	分科会	担当議員
建築住宅局	2	28	火	1	10:10	1	森本 真・今井 まさこ
こども家庭局	2	28	火	4	13:45	3	味口としゆき
福祉局	3	1	水	2	10:55	2	大かわら鈴子
教育委員会	3	1	水	3	12:40	3	松本 のり子
交通局	3	2	木	6	15:00	1	山本じゅんじ
建設局	3	2	木	1	10:10	2	西 ただす・朝倉 えつ子
消防局・危機管理室	3	3	金	6	15:00	2	大かわら鈴子・朝倉 えつ子
経済観光局	3	3	金	2	10:55	3	林 まさひと

原油・物価高騰で悲鳴をあげる市民・中小業者への支援を

2月13日に神戸市会本会議が開かれました。コロナ禍における原油価格・物価高騰等に直面する市民や市内中小業者への支援の強化を求め、日本共産党神戸市会議員団の味口としゆき議員が議案質疑に登壇しました。

質疑項目

1. コロナ禍における原油価格・物価高騰等に直面する市民や中小業者への支援について

- (1)市民への支援について
- (2)市内中小業者等への支援について

兵庫県は2月1日から銭湯の大人入浴料金を40円値上げすると発表しました。これに対し、補正予算では、神戸市として差額分を補填する予算が計上されました。これは、10月の味口議員の質疑が実現したものです。同時に味口議員は、補正予算のうち、「市

民への支援」が銭湯利用者への支援や、出産子育て応援交付金と休職者への就労支援のみで、非常に限定的であると指摘し、原油価格・物価高騰に直面しているすべての市民への支援を強化すべきと質しました。

味口議員が議案質疑



し、このような制度を生活困窮の方々に結びつける必要があるので、今回暮らし支援窓口の体制を強化する対応をとった。

味口議員：あるシングルマザーは、「このままでは今の家に住めない。それなのに、市営住宅には空きがない」と相談に来た。また、年金者の方を訪問すると、光熱費がかからないように真っ暗の部屋中で暮らしていた。これが今の市民の現状だ。今本当に困っている方々への支援がない。市民がかつてない危機に

直面している認識が神戸市にはないからではないか。

小原副市長：原油・物価高騰は全ての市民に影響を及ぼしているものだ。

味口議員：国や今の神戸市の支援では足りないから、我々のところに相談が寄せられている。例えば、上下水道や国保・介護保険料の値下げ、給食・学用品などの教育費の軽減、生活困窮者への住宅提供や家賃補助など、神戸市としてやるべきことはたくさんある。今の危機的状況に見合った支援をすべきだ。

答弁ダイジェスト

小原副市長：昨年国が給付金を支給する方針を示し、神戸市でも支給を終えている。今後、物価高の長期化により新規相談が増えることを見据え、各区役所に「暮らし支援窓口」を設置する予算を計上している。

味口議員：私たち市議団は、この間市民アンケートを

実施し、各区で相談会を開き、市民の皆さんの切実な声を直接聞いてきた。原油・物価高騰の影響は、社会的に弱い方に色濃く表れ、国の支援だけでは十分でないことが明らかになった。市民の暮らし応援の施策をおこなう必要があるのではないか。

小原副市長：国の方でもそれぞれ支援が確立されている

属していない個店に対しての支援は弱まるのではないか。

今西副市長：直近の日銀神戸支店の金融経済概況では、個人消費は持ち直し基調とされている。市内中小業者の声を丁寧に聞き、今後も効果的な事業者支援に取り組んでいきたい。

味口議員：個人消費が増えているからではないか。日銀短観などだけで経済状況の判断をすべきではない。私は「電気代もガス代も以前の2倍に上がった」と悲痛な事業者の声を聞いている。市内中小業者は景気が上向きになっているという認識は持っていない

い。実際に街に出て事業者の実態を見るべきだ。10月の議会で市長は「(支援を)行き渡らせるように努力をしないとけない」と答弁した。新しい支援策もなく、どのように行き渡らせるのか。

今西副市長：国県の施策や事業者の声も聞いて、その時々に対応した補正予算を計上している。

味口議員：その時々と言うなら、(支援するのは)今だ。電気代等の高騰対策として公共施設に対する電気代の対策はおこなっているのに、なぜ市民や中小業者には対策をしないのか。

(2面につづく)

なぜ、中小業者支援を弱めるのか？ かつてない危機に見合った支援を

補正予算では、コロナ禍における原油価格・物価高騰に苦しむ市内中小業者への支援として、商店街・小売市場が実施するプレミアム付商品券の発行等への補助が計上されています。しかし、昨年11月から実施されているKo-Payの予算は11億5000万円でしたが、今回は4億5000万円と半

額以下に縮小されています。味口議員は「長引くコロナ禍に加え、原油価格・物価高騰を受け、市内の中小業者が長期に渡り苦しめられている現状を踏まえれば、予算を減額すべきではない。本格的な支援策こそ必要だ」と質しました。

補助は、商店街・小売市場に限定されているので、Ko-Payと比べても商店街などに

答弁ダイジェスト

味口議員：今回実施するプレミアム付き商品券発行への

今西副市長：公共施設の光熱費を計上したのは、当初予算では足りなくなったからだ。エネルギー価格や物価高騰の影響は、本市だけでなく

全国的な問題である。国の方で電気ガス価格の激変緩和対策が実施されている。

味口議員：足りなくなっているのは公共施設だけではなく

い。国が対策をとっていると強弁しているが、岸田政権の閣議決定では、75歳以上の中間所得層以上を対象に医療保険料を2024年度から引き上げ

るとしている。(国の悪政の)防波堤となって、市民の皆さんや事業者の皆さんの暮らし・福祉を守ることが神戸市の仕事だ。

企業もうけのために 個人情報を出さない!!

2月13日の神戸市会本会議で、西ただす議員が日本共産党神戸市会議員団を代表して、議員提出第45号議案「神戸市会の個人情報の保護に関する条例の件」について反対討論をおこないました。

討論の趣旨は、以下の通りです。

今回提案された議案は、改正個人情報保護法で地方議会が新制度の対象とされておらず、これまでの個人情報保護条例が議会も対象とされていないことから、これまでの個人情報保護条例同様に、議会を引き続き個人情報保護の対象としていく趣旨から条例化

が必要となったものです。

改正個人情報保護法のもとでは当面、都道府県及び政令指定都市は、外部から情報提供を求められれば、基本的には拒否できません。議会はこうした仕組みの適用外となっているにもかかわらず、こうした仕組みに沿い、匿名加工

西議員が反対討論

情報を提供するのは問題です。条例案の「匿名加工情報」の取り扱いの条項には、将来的には開示もありうるのではないかという懸念があります。個人情報の利用は、いわゆる個人を特定する「個人情報」を欲しがっているようなものにとどまらず、行政の持つあらゆる人間の情報を入力して仮想空間に仮想人間社会を構築して、あらゆる経済社会現象をシミュレートして企業の儲けの手段にしようという危険性があるとの指摘もあります。議会との関係では、陳情、請願などの情報から、政治思想や経済要求の種



類などをデータ化して仮想空間に取り込み利用される危険があります。

個人情報保護のために議会の保護条例制定は必要ですが、条例案にある利用を前提とした匿名加工情報の項は必要ないと考えます。

ジェンダー平等実現してこそ 女性の社会活動の自由が保障される

2月17日に神戸市会本会議がひらかれ、日本共産党神戸市会議員団の今井まさこ議員が、議員提出第46号議案「103万円の壁及び130万円の壁を早急に撤廃することを求める意見書(案)」について反対討論をおこないました。

討論の趣旨は、以下の通りです。

私たちは、個人所得課税は「応能負担」、「生計費非課税」と考え、時給1500円以上の最低賃金とともに課税最低限の引き上げを求めました。

案文では、最低賃金が960円になったことを大幅な上昇と評価していますが、960円で1年間働いてもワーキングプワといわれる年収200万

今井議員が反対討論

円には届きません。

反対の主な理由は、課税最低限の引き上げだけでは「低賃金な非正規」で働かせる時間が延びることだけになるからです。

さらに、女性の社会活動を妨げているのは、賃金や労働条件などの男女差別や、保育所整備の遅れなどに大きな原因があり、税が主要な問題ではありません。

今、日本が「賃金が上がらない国」から抜け出すために



は、最低賃金を引き上げること、男女の賃金格差を是正し、同一価値労働同一賃金・均等待遇を実現することです。

日本共産党の繰り返しの働きかけで実現

私立小中学校でも就学援助

神戸市は4月から、就学援助の対象者を、私立小中学校にも拡大する方針を決めました。当初神戸市は「私立中学校に通えるなら就学援助は必要ない」という認識でしたが、日本共産党議員が繰り返し働きかけ、支援の拡大が実現しました。



2022年11月16日、教育委員会に申し入れる松本のり子市議(右奥)ときだ結果議(左)

就学援助規則改正 意見募集に
にともなう

みなさんの声を
お寄せください

募集期間 2月17日(金)～
3月19日(日)まで

趣旨や概要・募集方法は、神戸市のホームページまたは右側のQRコードからご覧ください。



ご視聴ください

味口としゆき議員が総括質疑

時間が前後する可能性がありますので、余裕をもってご覧ください



日時 3月8日(水)13時35分頃から

場所 市議会本会議場

ご視聴は
こちらから

神戸市は、来年度予算案で神戸空港の国際化128億円、都心・三宮再整備106億円、市役所整備18億円、ウォーターフロント整備50億円、湾岸道路31億円、戦略港湾96億円など、ムダな大型開発路線を強行しています。

インバウンド、大企業・IT企業などの呼び込み型ではなく、市民の雇用創出や中小企業応援、地場産業の活性化など、内需をあたためてこそ神戸らしい経済発展ができます。

神戸空港国際化 新地下鉄構想ストップを

自民・公明・維新・立憲・国民は神戸空港には「市税は投入しない」とした決議を反故にし「あらゆる財源を積極的に活用」する決議を強行しました。これを受けて久元市長は600億円の空港拡張工事にとどまらず2,400億円もの地下鉄延伸構想をうちだしました。

国際化に乗じたムダな大型開発はやめるべきです。



なによりいのちと暮らし優先を求めて

市民の税金は 市民の暮らしに

保育所の待機児童の解消や、子ども医療費の完全無料化、小学校や学童の過密解消、不足する特別養護老人ホームの整備、コロナ禍であらわになった脆弱な医療体制の強化、保健所を各区設置に戻すなど暮らし応援の予算に。

日本共産党神戸市議団は、市民のみなさんと力を合わせて、高齢者から子どもまで、9つの行政区のどのまちでも住み良い神戸の実現へ引き続き頑張ります。

無駄な大型開発やめて、 暮らし・医療・子育てに 予算を

一般会計 8,794億円の2.5%の
組み替えで、これだけ出来ます!

神戸市予算の総額は8,794億円(一般会計)。神戸空港の国際化に乗じた無駄な大型開発、三宮再開発に多額の予算を計上しています。こうした無駄にメスをいれ、予算のわずか2.5%を改めれば、こどもの医療費完全無料化、学校給食の無償化、国民健康保険料・介護保険料の引き下げなど、原油価格・物価高騰に苦しむ住民の切実な願いを実現できます。

大企業からの献金や政党助成金を受け取らない日本共産党神戸市議団だからこそ、神戸市の税金のムダ遣いにメスをいれ、市民の暮らしや営業・医療・教育の応援がおこなえます。

日本共産党の神戸市予算組み替え案の概略(2023年度版)

主な見送り事業

▼神戸空港国際化	128億円
▼三宮再開発	106億円
▼大阪湾岸道路	31億円
▼ウォーターフロント整備	50億円
▼戦略港湾	96億
▼医療産業都市や企業誘致	
▼王子公園再整備	
▼スマスイ廃止・須磨海岸再整備	
▼須磨多間線工事	
▼市会議員の費用弁償	など

削減
222
億円
(一般会計分)

主な拡充提案

▲高校卒業まで子ども医療費無料化	22億円
▲小学校全学年と中学1年生で35人学級	12.5億円
▲学校給食の無償化	33億円
▲給付型 奨学金制度創設	7億円
▲地域医療機関の支援、保健所強化	25億円
▲中小業者への直接支援	28億円
▲国保料5千円引き下げ 介護保険料5千円引き下げ	など

増額
200
億円

みなさんと 力をあわせ声を届け **実現!**

建設的提案で



2017年12月 市民と署名を提出する味口としゅき議員

こどもの 医療費 助成

高校生まで 拡大実現!

こどもの医療費助成がついに高校卒業まで拡充することになりました。外来医療窓口負担が10月から400円となります。子育て世代からは「物価高騰のなかで助かるね」の声があがっています。

日本共産党は、こどもの医療費助成を進めるため、市民のみなさんと力を合わせ署名を集めながら、通算90回議会で質問するなど実現へ全力をあげてきました。引き続き、**完全無料化**を求めます。

大学誘致ではなく

王子公園・王子動物園の充実を



11月25日 会のみなさんと市長に署名を提出する日本共産党神戸市会議員団



旧ハンター邸

いよいよ「王子公園再整備基本方針」が決定された直後の「移築」発表は、あまりにも市民不在です。日本共産党・味口としゅき議員は、2月24日議会でこの問題を取り上げ「大学誘致のために文化財まで犠牲にするやり方はやめるべきだ」と求めました。

日本共産党はみなさんと一緒に、声をあげ続けます

あたたかい
みんなで食べる



3月1日 予算特別委員会・教育委員会審査で質問する
松本のり子議員

中学校給食 ついに実現!

日本共産党は、市民のみなさんと9万を超える署名を集め、中学校給食を2017年に実現。

しかし、予算を十分に確保しなかった神戸市の決定によりデリバリー弁当方式となった給食は「冷たい、美味しくない」と不評でした。日本共産党は、市民のみなさんと制度の転換を粘り強く求め、繰り返し議会で取り上げ、ついに「**全員で食べるあたたかい中学校給食**」が2025年度からはじまります。



写真はイメージです

「大学誘致ではなく、王子公園・王子動物園の充実を」もとめる署名は、6万5千人を超えるなど、みなさんの民意は明確です。

ところが、久元市長は、王子公園の「売却」を公言。一度切り売りされれば、二度と元には戻りません。

来年度神戸予算案では、突然、王子公園内にある旧ハンター邸が移築されることが発表されました。2013年12月から神戸市は、旧ハンター邸はずっと「存続」としてきました。



3月2日 建設局審査で質問する
西ただす議員

原油価格・物価高騰からくらし・営業、医療・教育を守る神戸市に

原油価格・物価高騰のもとで、市民の命とくらし、雇用と営業を守ることが切実に求められています。

ところが、神戸市の2023年度予算案は、神戸空港の「国際化」や、無駄な大型開発路線を強行しようとしています。

また、市民の反対の声を顧みず、王子公園への大学誘致推進、北神医療体制の後退をすすめる済生会病院つぶしを進めようとしています。

日本共産党神戸市会議員団は、市民のみなさんの声をまっすぐに議会に届け、「市民のくらしや営業、医療・教育に予算を」と、予算議会で神戸市政の転換を強く求めています。

原油価格・物価高騰で悲鳴をあげる市民・中小業者への支援を

兵庫県は2月1日から銭湯の大人入浴料金を40円値上げすると発表しました。これに対し、補正予算では、神戸市として差額分を補填する予算が計上されました。これは昨年10月、日本共産党神戸市会議員団の質疑で実現したものです。

味口としゆき議員は予算議会で、「市民への支援」が非常に限定的であると指摘し、原油価格・物価高騰に直面しているすべての市民への支援強化を求めました。

小原副市長は、「原油価格・物価高騰は全ての市民に影響を及ぼしているものだ」と市民の願いに後ろ向きな答弁に終始。

味口議員は、原油価格・物価高騰の影響で困っているシングルマザーや高齢者の皆さんの声を紹介し、「市民がかつてない危機に直面しているという認識が神戸市にはないから、我々に相談が寄せられている」と追及。同時に、**上下水道や国**

保・介護保険料の値下げ、給食・学用品などの教育費の軽減、生活困窮者への住宅提供や家賃補助など、神戸市として今の危機的状況に見合った支援をすべきと強く求めました。

さらに、原油価格・物価高騰に苦しむ中小業者への支援は半額以下に縮小されています。味口議員は「中小業者が長期に渡り苦しめられている現状を踏まえれば、予算を減額すべきではない。本格的な支援策こそ必要だ」と質しました。



2月13日 議案質疑に登壇する味口としゆき議員

特別支援学校 設置基準を守り、改善を!



3月1日 予算特別委員会・教育委員会審査で質疑する松本のり子議員

特別支援学校について、新たに図書室など設けるようにとの設置基準が定められました。しかし兵庫区の友生支援学校では生徒数が増えて図書室を設置する十分なスペースを確保することが出来ず、廊下に本を置き図書コーナーとして対応しています。廊下の端にカーテンを作り更衣室として、作業室もホームルーム教室になり作業室は廊下になりました。**教育機会の確保の点からも問題のため改善を求めました。**

教育委員会は2027年までは生徒数が増えるが、それ以降は子どもの数は減少していくため、東灘区にある友生支援学校住吉分校は売却予定で、特別支援学校を新たにつくる計画はないとの冷たい答弁でした。

他の支援学校でも、多目的室が普通教室におきかわり、廊下に本を置くなどの劣悪な実態があります。障がい児によりそわず、国が求めている最低基準さえ守らなくてもよいとの姿勢は許されません。引き続き皆さんと議会で声をあげていきます。



子ども医療費無料化

日本共産党神戸市会議員団はこの間、子ども医療費助成拡大や無料化を議会で90回も取り上げてきました。

久元市長は、「人口が100万人以上の自治体で高校生までの医療費を無料にしている例はない。無料にすると、子どもが大病院に殺到して、パンクするおそれがある。」(22年12月県立兵庫高校生との議論での発言)など根拠のない理由で、中学卒業までの医療費無料化の公約を反故にし、外来の窓口負担を残しました。

森本議員は、「230万の名古屋市では、2022年1月から高校卒業まで無料の制度がある。市長の発言は間違いだ。また、窓口負担があることによって、経済的理由で必要な医療が受けられない子どもたちがいるという事実。

もし受診が増大したとすれば、それは窓口負担によって本来必要な受診が抑制されていたということに他ならない」と指摘。

久元市長は、「選挙公約で、子ども医療費無料化を掲げたのは事実。名古屋に行くことがないのでわからない」と、実態も調べずに無責任な答弁に終始しました。

子どもの医療費の助成、無料化は全国に広がっています。神戸市も無料化を決断すべきです。



2月20日 代表質疑で質疑する森本真議員



▲日本共産党議員団作成のピラ

地域の切り捨て計画許さず

2019年、神戸市は駅から離れた地域の責任を放棄する「都市空間向上計画」(案)を発表。日本共産党は住民が生活している神戸市の一部地域を切り捨てるこの計画を調査、告発。神戸市は計画を見直しました。

統一協会との癒着をたどす

神戸市では、自民党市議の仲介で市の幹部職員が統一協会関連団体のイベントに参加、さらに、神戸市は統一協会から寄付を受け取り市長名で感謝状を出し、助成金も出していました。統一協会は、政治家を広告塔に使うなど政治家との結びつきを使って、被害を広げてきました。統一協会との癒着を一掃し、神戸市の民主主義を守ります。

議会と行政をチェック 市民の願い実現へ

議案・陳情に対する各会派の賛否一覧 (○採択、×不採択、■審査打切) ※請願は、紹介議員の可否

2022年に神戸市議会で議論された主なもの	日本共産党	自民党	公明党	日本維新の会	立憲民主党	つなぐ	共創・国民民主	結果
請願 大学誘致撤回 紹介 王子公園・王子動物園の充実	○	×	×	×	×	×	×	審査未了
議案 2022年度一般会計予算	×	○	○	○	○	×	○	承認
陳情 少人数学級実現	○	×	×	■	×	○	—	不採択
陳情 同性パートナーシップ制度創設	○	■	○	○	○	○	—	採択
陳情 学校給食の無償化	○	■	■	■	■	○	—	審査打切
陳情 補聴器購入の公的助成	○	■	■	■	■	○	—	審査打切
決議 神戸空港国際化600億円への市税投入	×	○	○	○	○	×	○	可決

根拠ない理由で市長公約と市民の願いに背を向ける姿勢正せ

日本共産党神戸市会議員団は、引き続き皆さんの声を議会に届け、実現に全力を尽くします。